

STT シャンク SA-V型



- ◎CNC旋盤専用設計で短身により干渉を回避
- ◎ネジ深さ制限装置(定寸機構)内蔵

- 使用条件によりバネ力・伸縮量などの仕様変更が可能(下記表参照)
- 伸縮装置が送り誤差を吸収、高いネジ精度を実現
- 右ネジ用が標準(左ネジ用も製作可能)
- プログラムはページA84参照

■組み合わせ表	推奨コレット
SA 206-V	TC 206-M
SA 412-V	TC 412-MO
SA1022-V	TC1022-MO

※安全装置付TC型コレットも使用できます

別売オプション

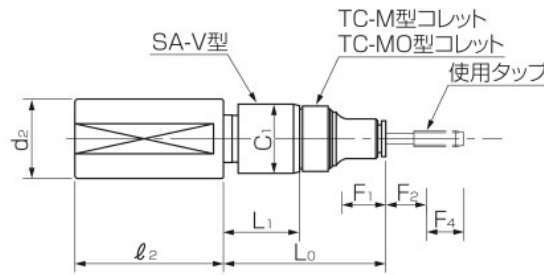


※本体に付属していません
別途購入が必要です



YouTube
加工動画

STT-SA-V型



型式説明

STT25-SA 206-V



型式	L0	L1	C1	F1*	F2*	F4*	シャンク		能力範囲	本体重量(kg)
							ℓ2	d2		
★STT25-SA 206-V	66.0	34.0	23	3	(3)	(5.0)	75	25	M 2~M 6	0.31
STT32-SA 206-V	66.0	34.0	23	5	(3)	(5.5)	65	32	M 2~M 8	0.41
★STT32-SA 412-V	85.0	41.5	35	5	(3)	(8.0)	80	32	M 3~M12	0.60
★STT40-SA 206-V	66.0	34.0	23	5	(3)	(5.5)	75	40	M 2~M 8	0.73
STT40-SA 412-V	82.0	38.5	35	10	(5)	(8.0)	75	40	M 3~M16	0.76
★STT50-SA 412-V	82.0	38.5	35	10	(5)	(8.0)	85	50	M 3~M16	1.33
STT50-SA1022-V	125.0	60.0	50	10	(6)	(9.0)	85	50	M 8~M27	1.56

単位:mm



STT40-SA412-V
+
TC412-MO

- ※ ★印の付いた製品の在庫についてはお問合せ下さい。
- ※ F1: 縮み量 F2: 伸び量 F4: 逆転時の伸び量
- ※ F2・F4量は参考値です。
- ※ 能力範囲は参考値です。転造タップ、難削材など高トルクが必要な加工についてはお問合せ下さい。

オプション: SA-V型伸縮装置の変更 SA-V型は、伸縮装置の縮み(F1)・伸び(F2)量の変更・設定力の増減ができます。

■縮み量・伸び量の変更表

仕様	変更内容	SA206-V					SA412-V		SA1022-V
		STT25	STT32	STT32	STT40	SA1022-V			
タイプ1	F1量の変更	—					F1=0		—
タイプ2	F1量の変更	—					F1=2		—
タイプ3	F2量の変更	—			F2=3		—		
タイプ4	F1・F2量の変更	—			F1=0・F2=3		—		
タイプ5	F1・F2量の変更	—			F1=2・F2=3		—		

■伸び設定力・縮み設定力の変更表

仕様	変更内容	SA206-V		SA412-V		SA1022-V
		STT25	STT32	STT32	STT40	
タイプ10	縮み(F1)力の増加	50%増加				—
タイプ11	縮み(F1)力の増加	—				30%増加
タイプ13	縮み(F1)力の減少	—				30%減少
タイプ15	縮み(F2)力の減少	—				80%減少
タイプ20	伸び(F2)力の増加	—				50%増加

機種選定

BT/DBTシャンク

HSKシャンク

Cシャンク

STシャンク

STTシャンク

MT/JTシャンク/汎用機

コレット/部品

技術資料